

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	現在の理念は、認知症の方々に対しての基本的なものだが、地域密着型を意識し、変更したとはいえない。		「地域の中でその人らしく生活することを支えるケア」を具体的にイメージして理念を検討してみる。
2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ミーティング、入居者さんへの関わりの振り返りの時には、理念に必ず触れ、確認し合うようにしている。		日常のミーティングで掘り下げて、職員全員で話し合いまで余裕が持たないため、今後、より意識して理念を考えていく。
3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族の方には、ホーム便りを活用し、理念をさりげなく盛り込み、面会時にも意識して話しをするように心掛けている。地域住民の方々に対しては、グループホーム設置前に事業所の理念・役割を説明しているが、それ以降は途絶えている。		地域的な面で、溶け込み馴染んでいくことは、なかなか難しい面もあるが、再度、ホームの紹介等を交えて地域の方々に配って、理解を少しでも深めてもらいたい。
2. 地域との支えあい			
4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	地域的にご近所の家など、付き合いが難しい面もあるが、病院での面会が終わったご家族の方などには、必ずご挨拶をし、日常的に会話をできるように心掛けている。		
5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の小学校より、授業の一環として、お年寄りの生活を学ぶ機会を設けている。他、小学校のボランティアを受け入れ、地元の人々と交流をしている。		
6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	事業所の実践内容を踏まえ、様々な研修・介護教室に関わりながら、認知症ケアの勉強を行っているが、地域の高齢者への啓発までには至っていない。		地域に対して、ホーム便り等を利用し、少しでも役立ってもらえるように取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	意義とねらいについて、職員で必要性を確認し合い、全員で取り組んでいる。昨年の改善点を改善できるようスタッフと話し合い、取り組んでいる。		
8 運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、ホーム設立から今日までの概略や施設の特色のご紹介、昨年の外部評価の結果を踏まえて、最近の運営状況について説明をしたり、ご家族の方々からは深くご意見・ご要望をいただき、できることを一つひとつ実現させていけるよう、話し合うようにしている。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	現在は、市町村との連携が多いとはいえない。市町村担当者と連携・交流を図るよう、話しをするようにしているが、担当者の変更が多く、継続していたものが、断続的になってしまうことがある。		積極的な連携を継続していくため、話しをする機会を増やし、事業所の実情や取り組みをよく知ってもらうようにしたり、情報を提供していただいたり、担当者が変更しても、どんどんアプローチを増やしていくようにする。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	情報として理解はしているが、職員とともに学ぶ機会までは至っていない。		成年後見人が必要なケースは管理者が1人で対応するため、意義・仕組み等、スタッフ勉強会の一つとして取り入れていきたい。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがない要注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待防止関連法は理解し、意識し仕事を行っているが、全ての職員が全てを周知しているとはいえない。		勉強会・ミーティング等で理解を深めるよう、取り組んでいきたい。
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間をとって説明している。一つひとつ不安点・疑問点に対し、説明し、料金についてはもちろん、体調面・ケアに関する考え方も理解、納得できるまで話し合うようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、利用者本位の運営を心掛けている。その際は、ユニット毎に話し合いに出された意見は日々のケアに活かすようにしている。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時に積極的に暮らしぶりや健康状態等を報告し、タイミングが合わないときは、お便りを個別に出し、情報交換をしている。介護記録にも目を通してもらっている。金銭管理も月に1回、記録を郵送し、確認していただいている。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族には、訪問時・手紙・電話でも何でも言っていただけるような雰囲気づくりに留意している。出された意見はミーティングを通し、職員全体で話し合っている。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングは定期的に行ない、意見を出せる雰囲気づくりを心掛けている。それと少なくとも年に1回は個別面談を行ない、じっくりと話し向き合う場も設けている。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者さんのケアにそえるよう、勤務時間を考え、その都度柔軟にローテーションを組んでいる。管理者を通常のシフトに入れていないので、夜間の対応や利用者の状態の変化に応じることができている。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者さん・ご家族の方々への信頼関係を築くためにも、馴染みの職員が対応することが重要だと思うので、異動や離職がやむを得ない場合も、その時期や引継ぎの面で最善の努力をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		<p>本人が理解していなかったり、納得しないまま入居していることが多く、入居してから混乱・不穏になるケースがみられるため、馴染んで生活するまで時間を割いて取り組むことが必要。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		<p>ご家族も自身の生活でいっぱいなのか、入居させることで精一杯で、その後の本人への関心が薄れ、面会も途絶え、電話・手紙などで近況報告してもあまり協力が得られないことがあり、今後の課題である。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	在宅の方はすでに沢山のサービスを利用されている方が多く、早急な対応が必要な相談者には可能な限り、柔軟な対応を行ない、スムーズに入居できるよう努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	家族より、入居前の情報収集をして、それをもとにスタッフがかわりを慎重に本人が不安にできるだけならないよう、ご家族等、面会していただけるよう協力して頂いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	昔の生活・習慣・食事などを話題にし、参考にしたり、教えていただいたり、できるだけ一人ひとりの得意なことをしてもらえる場面をとりいれるようにしている。また、本人が心を開き、話しをできるように雰囲気づくりをするように心掛けている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族と情報交換を常に意識し、協力していただき、本人を支えていくよう心掛けている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	両者に対し、本人の思いをそれぞれ伝え、安心した関係をもてるよう努めている。また、外出・外泊などを定期的に行なって、一緒に過ごす時間を大切にしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	遠方にいるご家族やご友人との手紙や電話など、関係を大切にしている。また、ご家族の協力により、墓参りなどの習慣なども大切にしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	時間をかけ、少人数での雰囲気を考慮し、お互いを理解し、同じ仲間であることをスタッフが間に入り、外出したり食事の会話など楽しめるよう、工夫している。		個性の強い入居者さん同士であるため、お互い狭い空間での関わりが難しく、なるべく小さなトラブルの場合はスタッフが介入しすぎないよう、本人同士にまかせるようにする。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	病院など入院している方などは面会を行い、状態を知るようにしている。また、ご家族の方へは気軽にホームに寄っていただける雰囲気づくりを大事にしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話やかかわりの中で、本人の望むことや気にかけていることや思いなどを探り、さりげなくご家族へ伝えている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人の過去の情報を日頃の会話の中より知り、ケアに活かして取り組んでいる。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの生活のリズムを把握し、本人のペースを大事にし、そのペースにそった中で、できるだけ自身の自主性を引き出せるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族の要望や意見を聞き、それを取り入れ、アセスメント～ケアプランへと職員で意見を出し合い、常に申し送り時などを利用して確認し合っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	日々の情報交換により、状態に変化が生じた時は検討し、見直しを行っている。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	体調や状況の変化や問題が生じた時は、水分・食事・体重・排尿など、また、行動の観察が必要な時など、常に記録や、職員でより情報交換を行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人・家族の状況に応じて、通院や送迎等、必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	定期的に料理(季節のもの・高齢者の好むもの)をしていただけるボランティアの方に来ていただいている。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	利用者の方の希望や体調に応じて、訪問理美容サービスを利用していただいている。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加していただけるようになって、関係を築くことができたが、まだ十分に協働しながら本人本位の支援には結びついていないといえない。		これからは、運営推進会議を通じて、より協力関係を築き、周辺情報を得たり、支援に関する情報交換を行ない、より本人本位の支援に結びつけていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	よく知る看護職員に気軽に相談している。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医に生活状況等を相談・報告し、治療が受けられるよう支援している。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけの病院の担当看護職者と気軽に相談できるシステムとなっており、日常の健康管理を支援している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	情報交換を密に行ない、安心して入院生活が送れるよう努め、面会も行ない、早期に混乱なく退院できるように連携している。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	グループホームでできることが限られているため、病状の変化の際は、本人にとってどうあったらよいのか、ご家族の意向を大事に、できるだけ最大の支援ができるよう、その都度話し合っている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人やご家族の意向を踏まえ、医師・職員が連携し、随時、意志を確認しながら取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	なるべく今まで使用していた使い慣れたものを持ってきていただいたり、思い出のものや写真などもご本人に合わせてダメージが少なくなるよう、配慮している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	プライドを傷つけないよう、プライバシーに関することには十分に注意を払い、対応・かわりを心掛けている。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	本人の意思を尊重し、できるだけ自身の判断をしたり、選んだりできる場面をつくらせている。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事の時間など一応、基準はあるが、その日の本人の状態などを考慮し、ペースを尊重している。一人ひとり思いのまま過していただいている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	訪問理美容院に月1～2回程度、来てもらい、入居者さんの希望に添うようにしている。また、朝の着替え・外出時の服装をご自身の意向で決めていただき、決定しにくいときでも入居者さんの気持ちに添えるよう心掛けている。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりの好みを知り、提供している。また、山菜の下ごしらえを皆で行ったり、食材の買出しと一緒にいたり、調理したものを一緒に食べ、話題づくりにもなるよう心掛けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	誕生日などは本人のリクエストを聞いてみたりと、本人の好みを理解して提供している。たばこについては、それぞれの希望や体調のことなどを考えて楽しめるようにしている。		状況・状態に応じてだが、年に一度でも、お酒の提供をしてあげたい。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	傷つけないよう、さりげなく声かけし、おむつ内の確認をしている。できるだけ失禁を防ぐようタイミングをみて、トイレの誘導を行なっている。一人ひとり排泄パターンに添った対応をし、オムツの使用には注意を払っている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人の希望する日時に入浴していただいている。入浴を拒む方には、タイミングや気持ちよくその気になるように対応などをスタッフ同士で工夫している。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜間に起きてしまう入居者の日中の過ごし方などを考え、夜間の睡眠に向け、生活のリズムが整うよう工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの得意なことを活かせるよう心掛けているが、野菜を植えたり、花の水やりなどをして、季節を感じながら成長を楽しんでもらっている。雑巾がけ・食事づくりのお手伝い・茶碗拭きなどを本人がその気になって気持ちよく行なってもらえるよう心掛けている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	外出・レクの時は、ご本人でお金の支払などをしていただいている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ホームのまわりの散歩・外食・食材の買い物・花や飲み物などの一人ひとりの好みに応じた買い物等、平均に出かけられるよう支援している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	日頃より会話の中より希望を探り、出来るだけ実現できるよう支援している。ご家族との外出も協力を得ている。		少人数での外出を計画し、(生活の共通している方々などで)出かける。(喫茶店・映画館)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に電話をしたり、取り次いだり、自室でゆっくり話していただいている。		手紙に関しては、字がまだ読める、書ける等の能力のある方へもっと積極的に日常、働きかけることが必要。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時は自由に居間で過したり、居室にてスタッフや他の入居者さんを交え、気軽に過していただいている。遠方から来られる方は泊って一緒に過していただいている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が理解しており、日々のケアを申し送り、ミーティング等で意識しながらケアに取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は玄関の鍵をかけず、自由に出入することができるようにしている。外に出て行く気配がある時は、見守りし、様子を見たり、一緒に外で過ごすようにして気配りをしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常に入居者さんの様子を把握し、トラブル・変化にすぐ対応できるよう、注意を払っている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	はさみ・針・包丁などは必要な時は、状況に応じて見守る中、使用していただいている。ポットなどは自由に使用している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	その都度、状況に応じた原因と今後、未然に防ぐための対策について、注意を払い、職員同士で確認している。		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	夜間の緊急時の対応などはマニュアルの説明会など行なっている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練などを行なっている。		
72	リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	転倒予防に事前に家族にものを用意してもらうように連絡したり、状況を説明し、改善できるよう話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>日々、様子観察を行い、気になる体調の変化には早めに担当医へ報告し、受診していただいている。普段と違い、気になる様子が見られる時は、その時の状況・バイタルを記録につけている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>入居者さんに合わせた薬の服用の方法を工夫している。処方された薬の内容を把握できるよう介護記録にファイルしたり、薬の変更等が合った場合は副作用など、様子観察をするよう申し送り確認を行なっている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>毎食後、乳製品などを摂るよう工夫し、水分不足などには気をつけている。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>歯磨きの声かけを誘導し、一部一部動作を見守り、入れ歯を使用されている方は洗浄液に入れ、衛生に気をつけている。入居にあたって、習慣になっていない方には、時間をかけて働きかけをしている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個々の食事、水分の摂取の状況を把握し、体調の変化などが生じた時は、すぐ対応するよう工夫している。また、献立も、量・バランスなど常に注意している。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルをもとに、スタッフが常に意識し、注意している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>まな板・ふきんなど毎晩漂白し、衛生に気をつけている。食材の管理・冷蔵庫の掃除・賞味期限の確認などを日を決めて行なっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関前に花を飾ったり、季節を感じてもらえるよう工夫している。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>台所が居間と続きにて設定されているため、料理や匂いがすぐ感じていただけ、話題づくりにもなっている。また、さりげなく季節を感じていただけるよう雰囲気づくりをしている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>馴染みの座席の設定や、入居者の食事の座席にも常に気を払い、トラブルやストレスにならないよう工夫を行なっている。テーブルをさりげなく分けることにより、気の合う者同士で過していただいている。</p>		<p>限られたスペースの中で、利用者さん一人ひとりの居心地の良い場所づくりや空間が必要。</p>
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時、本人の馴染みのものの持込をしていただき、安心して生活していただいている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>喫煙者が多く、常に空気清浄機を使用している。掃除・居室の換気に心掛けている。</p>		<p>喫煙者が多く、狭い居間での換気には限界があり、煙を嫌がる入居者さんへの配慮にも、もっと取り組み改善する必要がある。</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	居室にて衣類を選んだり、洗濯物を干したりたたんだりと作業がしやすいよう常に歩行・移動がしやすいように環境を整えたり、転倒には注意している。		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	一人ひとりの特徴や状態を把握し、居室の設定や混乱を避けるため、ドアなど工夫をしている。		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	玄関まわりに季節感がわかるように花などを育てて飾っている。天気の良い日を利用し外に出て、軽い食事やおやつなどを食べ、気分転換したり楽しんでいる。		気軽に出入りができて、安全な環境で外で過せる場があることが望ましいと思う。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> たまに ほとんどない

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ① 少しずつ増えている <input type="radio"/> ② あまり増えていない <input type="radio"/> ③ 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

日常生活の中でできるだけ自分自身の機能を発揮しやすいように環境を整え、自主的に習慣になるよう働きかけを心掛けることで、いつまでも健康で楽しく幸福に生活を送ることができるよう支援している。